



さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第3号

「ワンチーム」9期校友会

副会長 町田 ○

ラグビーW杯は南アフリカの優勝で幕を閉じましたが、日本代表の初のベスト8進出で日本中が大いに盛り上がりにかわファンも急増、更に彼らのスローガン「ワンチーム」が流行語大賞にノミネートされました。ラグビー経験者の私にとっては楽しい1ヶ月半でした。

それはさておき、今年度も残すところ3ヶ月余となりました。私達はこれまで「全員参加」をモットーに諸行事、部活（史跡巡り、パソコン）、班活を活発に行い、加えて岩槻協議会主催の学習講演会、GG大会、文化祭等に積極的に参加してきました。

特に文化祭（演芸発表会）では、「東京五輪音頭2020」が他の期と競演となりましたが私達は6月からの長期間に亘る猛練習の成果を十分に発揮し存在感を示しました。（9期校友会はポーズと生きてねーぞ！！）

一方皆さんご存知の様に私達が属する岩槻協議会（以下岩協）では創設以来初めての転換期を迎えています。退会、新しい期の入会見送り等で従来から行ってきた順番制での役員交代人事が2021年から不可能になります。

時代の流れとはいえ抜本的な対策が急務で目下、岩協では2021年度以降の文化祭を取り止める案等具体的な検討に入っています。

私達9期執行部では今後とも新しい情報を皆さんと共有し岩協の諸問題の解決と9期校友会の発展に尽力していきたいと考えています。皆さんからのご意見、ご要望をお待ちしています。

§ 史跡めぐりクラブ §

◇ こしがや 久伊豆神社と日本庭園・能楽堂見学 ◇

去る9月17日（火）、史跡めぐりクラブは、18名の方の参加を得て越谷の香取神社と久伊豆神社そして日本庭園の「花田苑」と能楽堂を見学致しました。

この日の天気は、快晴で蒸し暑い夏日でしたが、春日部駅、午前9時25分発の電車に乗って北越谷駅で下車し、徒歩5～6分のところにある大沢地区の鎮守様「香取神社」に行きました。香取神社本殿の周囲一面には紺屋の作業の彫刻があり、これは市指定の文化財になっているとの事でした。この後、約20分位歩いて次の目的地「アリタキ植物園」に向かいましたが、残念ながら連休明けと言う事で休園でした。次に越谷の鎮守様「久伊豆神社」行きました。久伊豆神社の藤は、県指定の天然記念物になっております。この藤棚の下で一休みしてから早めに久伊豆神社を後にしてコミュニティバスで「花田苑入口」まで行き、近くのファミリーレストランで食事をした後、本格的な廻遊式池泉の日本庭園「花田苑」に行きました。花田苑は、奇麗に整備されていて、特に印象に残ったのは竹林が涼しそうでした。また結婚式の記念写真を撮っているカップルも居て微笑ましい光景でした。参加された中には『主人ともう一度この庭園に来たい』と話している方もいて、計画した者としては大変うれしい言葉でした。次に庭園に隣接する日本文化の伝承の館「こしがや能楽堂」に行きました。「能楽堂」ではガイドから能舞台について案内をしてもらい、展示室では能面を付

けて見ましたが、目の部分から見える視野の狭さには驚きました。この面を付けて狭い舞台上で舞うと言う事は、良く舞台から落ちないものだと関心致しましたが、そのため舞台には、目安として4本の太い柱があるとの事でした。能楽堂から中庭見所、楽屋等を見学して外廊下越しに見た庭園もまた素晴らしい景色でした。時間も丁度帰る予定時刻になったので、再び日本庭園内を歩いてバス停「花田苑入口」に向かい、越谷駅経由で帰路につきました。参加された皆さんのご協力により事故・怪我等もなく無事終わりました事に感謝しております。



花田苑の庭園風景



能楽堂全景



能楽堂の舞台上に立って

講演会 辻川牧子氏「和の心」

岩槻協議会は日本の「和のこころ」の伝道者である和楽舎代表 辻川牧子氏をお招きして、9月13日、会員130名余の参加のもと学習講演会を開催した。

辻川牧子氏は幼稚園から大企業まで幅広い分野で「言葉と挨拶・立ち居振る舞い、子育て、人間関係」などの講話を、古来日本人の持つ知恵の数々を判りやすく説いておられる。

1時間半に及ぶ講演は心が洗い清められる程のお話で、参加者から「是非、もう一度お聞きしたい」という声が強かったのに裏付けされた一日となった。

講演の内容は「笑顔の国、日本」というテーマで始まり、我々日常ほとんど忘れ去られている「笑顔」がどれほど人間関係を豊かにし、自分自身の心と体の健康に大変な効果をもたらしてくれるというお話から、特に有り余る物質的な環境の中で「足るを知る」心の貧しさなど心に突き刺さるような教訓を教えられた。

辻川先生からは「これからの人生で、今日が一番若い」の心で生きる大切さを教えられ、また「何時だって今日から・・・」など「今がお年頃？」という心で生きる大切さを学ぶことができた。

講演の最後に会員の中から幾つの質疑応答があり、先生から丁寧なお答えをいただいた。質問の中から一つだけ書き留めておきたい。

質問「今日の若い母親が赤ん坊を乗せた乳母車を押しながら自分はスマホ片手で歩き、自分は見事に化粧をして子供を保育園におむつがぐしょぐしょのまま預けに行く母親のどれほど多いことか。これが今日の子育て中の母親の実態である。これらの母親に同教育したらよいのであろうか。」

答「おっしゃるとおりです。私が実際に保育園の先生からそのような話は幾度となくお聞きしております。赤ん坊にとっておむつは大変な負荷がかかり、その重さのため子供の腰痛になる場合も多く散見される。ひどい母親はおむつ代を節約するために取り換えの回数を減らすという愚行にでる母親もいる。こんな実態を無くすことが必定であります。」

参加者から多くの感想文が寄せられたが、ほとんどが「もう一度、時間をかけてお聞きしたい」とか「再出発のヒントを教えていただいた」などの感想が寄せられ、来年にでも第2回目の講演会が待たれる。

(文責瀧田)



GG大会で我が9期大奮闘

岩協主催のGG大会が快晴の10月2日梶の森運動公園にて開催。これまで2年続けて悪天候のためハーフで終わっていたが、今年は30度を超す残暑の中90余名の参加で熱戦が繰り広げられた。深井会長の「この機会にみんなが友好を深め楽しく親睦を図ろう」との挨拶の後、全員ラジオ体操で体をほぐし競技が開催された。会場のあちこちからホールインワンの歓声と共に4つも5つも叩いてがっかりするやら年齢を感じさせないハイレベルの戦いであった。成績は次の通りであったが、なんと我が9期の



精鋭が3名も入賞。町田選手はわずか1打差で優勝を逃したのは誠に残念であった。(文責 瀧田)



1位	8期	安部 ○○	6位	9期	中澤 ○○
2位	9期	町田 ○	7位	11期	伊藤 ○○
3位	8期	三井 ○○	8位	7期	山口 ○○
4位	8期	小林 ○○	9位	8期	永盛 ○○
5位	9期	皆川 ○○	10位	12期	井浦 ○○

健康講習会

台風一過の10月15日、「社団法人ふくふく」から健康アドバイザーである泉和夫先生をお招きして、日頃健康上の悩みを多く抱えている我々に自分で改善することができる健康のツボを中心に話をいただいた。最初に健康至言というテーマで「食べ物による健康改善策」について話をいただいた。一つ例を挙げると「二日酔い」には「大根おろしにパセリのみじん切りを加えて多めに食べる」と治るとか、「便秘」には「キャベツとミカンをジュースにして毎日飲む」とよいか、冷蔵庫にある食材でほとんどの軽い症状は改善されるというアドバイスであった。肩こりが万病の基とか、肩こりになりかけたら要注意であるとのこと。会員の中から症状のある数人が直接先生から治療を受け・・・帰りには元気で帰られたとか。まずは足腰が弱らぬように健康運動を続けることであるとの結論に至った次第である。最後にある会員から「口の悪いのは何処を治せばよいのか」との質問があったが、先生から「性格を治しなさい」とのアドバイスであったが、当の本人には無理な治療法であると感じた次第。非常に有意義な講座であった。(文責 瀧田)



「人間はその死の瞬間まで、成長できる可能性を持った生き物である。

だからこそ希望の小窓を閉じてはいけない」 —— キューブラー・ロス

「生涯修行 臨終定年」 —— 松原泰道師

私どもは若い。沢山の時間がある自分は幸せである。世のため、人のために頑張りましょう。

2019年度の文化祭が11月10日市民会館いわつきで開催された。我が9期は作品に6名が出品。演芸の部では例年通り合唱と踊りを披露。初夏から幾度となくあちこちの公民館をベースに足を運んで猛練習を重ね、本番では他の二つの期が同じ「東京五輪音頭2020」を演じたが、立派に对等に演技することが出来た。コーラスは選曲の段階で多少問題があったが、みんなの力で堂々と歌いきって会場から大きな拍手が起こった。演技指導から会場設営に加え、岩協の企画関係に参加してくれた会員など多くの下支えがあればこそその結果であり、携わっていただいた各位に心から感謝を申し上げたい。作品展は毎年同じ人が出品しているが、次回にはもっともっと大勢の参加が期待される。いずれにせよ、心を一つにして当日を迎え、楽しく参加できたことは反省会でのみんなの話に尽きるように感じた次第である。(文責 瀧田)

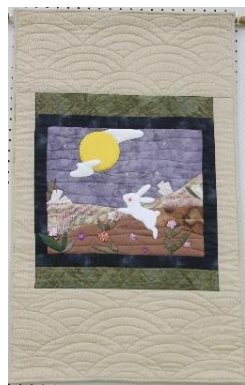
文化祭開催



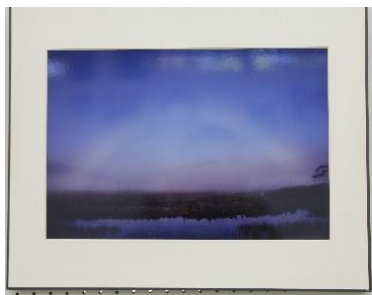
宮崎さん セーター



石塚さん 貝人形雛飾り



濱野さん 十五夜



樺木さん 白い虹



澄川さん 雨上がり



瀧田さん 名人芸

